



## アジア太平洋地域の少子高齢化を考える – 女性の権利と選択

#ForEveryAge of HER LIFE - women's rights and choices in the Asia-Pacific Region

1月18日、UNFPA駐日事務所長の成田詠子と、アジア太平洋地域事務所 地域アドバイザーの森臨太郎がオンラインセミナー「アジア太平洋地域の少子高齢化を考える」に登壇しました。本セミナーは、UNFPAアジア太平洋地域事務所のキャンペーン「[#ForEveryAge of HER LIFE – すべての世代の彼女のために –](#)」の啓発活動の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）との共催で実施され、およそ120名が参加しました。

成田（写真左下）は、少子高齢化に関する問題を解決するために女性の人権を制限しようとする動きに警鐘を鳴らし、「世界人口の増加傾向そのものは問題でなく、一人ひとりのウェルビーイングや生活の質を保障するためのジェンダー平等と、人権に根ざした政策が重要」と語りました。森（同右上）は、子どもを産むか産まないかを含め、出産に関する個人の選択が支持されるべきと指摘。セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利：SRHR）の重要性を訴えた上で、あらゆる世代の女性を支援



することが、社会全体の発展と健康的で活動的な高齢化社会の実現に繋がると強調しました。

昨年12月26日から今年1月28日にかけて、東京都新宿区のJICA地球ひろばで開催されていた月間特別展示「#ForEveryAge of HER LIFE – すべての世代の彼女のために –」は、好評のうちに終了しました。

▶ [キャンペーンサイトはこちら \(English\)](#)

On January 18, Eiko Narita, Chief of UNFPA Japan Office, and Rintaro Mori, UNFPA APRO Regional Adviser, discussed the life-cycle approach and gender equality in a UNFPA and JICA co-hosted webinar. From December 26 to January 28, the two organizations successfully held a photo exhibition “#ForEveryAge of HER LIFE.”

## 「人道支援活動 概要」 日本は第9位の拠出国

Humanitarian Action 2023 Overview, Japan as 9th largest donor for UNFPA



UNFPAが2022年に60か国以上で実施した人道支援活動と成果、拠出国からの支援および2023年の計画などをまとめた「[Humanitarian Action 2023 Overview \(2023年 人道支援活動 概要\)](#)」が、2022年12月に発表されました。2023年、UNFPAは6,600万人の脆弱な立場に置かれた女性や少女を支援するために、総額12億米ドルを必要としています。

同概要によると日本は、2022年の一般拠出金において、前年に引き続き第9位の拠出国となりました。また、補正予算事業についても、2020年に約1,845万米ドル、2021年に約926万米ドル、2022年は約2,024万米ドルの資金援助を実施。これらに加え、バングラデシュでの「ジェンダーに基づく暴力への対応及び母子保健支援計画」に5.22億円の連携無償資金

協力を行うなど、日本は様々なかたちで UNFPA に貢献しています。



[▶ 詳しくはこちら \(English\)](#)

In December 2022, UNFPA published the **Humanitarian Action 2023 Overview** which summarized UNFPA's overall impact in 2022, contribution revenues from donors, and the action plan for 2023. According to this release, Japan is UNFPA's 9th largest donor. Japan also provides a supplementary budget of \$20 million USD for supporting projects in 18 countries. #ThankYouJapan!

## ジンバブエ：妊産婦・新生児の死亡率改善を目指して

Zimbabwe : Aiming to improve maternal and child mortality

UNFPAジンバブエ事務所は、日本政府の支援による「新型コロナウイルスのホットスポットにおける包括的な緊急産科・新生児ケアの強化プロジェクト」のもと、救急車の供与、助産師や救急車の運転手およびメディアへの研修などを通じて、妊産婦死亡率の改善を目指しています。本事業の紹介動画で、在ジンバブエ日本大使館の田中聡志大使は、日本の母子保健サービスの知見を生かし「2030年までに妊産婦死亡率を出生10万対70未満に削減し、新生児と5歳未満の子どもの予防可能な死亡をなくすというSDGs第3目標の達成に貢献したい」と語りました。



[▶ 動画を見る \(日本語字幕あり\)](#)

UNFPA Zimbabwe, with the support of Japan, is carrying out the project “Strengthening Comprehensive Emergency Obstetric and Neonatal Care in COVID-19 Hotspots in Zimbabwe”. The project aims to achieve zero preventable maternal and child deaths by providing ambulances and trainings for medical and journalists. Ambassador Tanaka of Japan to Zimbabwe expressed Japan's hopes to contribute to the achievement of SDGs goal 3.

## スリランカ：女性に対する暴力に関する啓発動画を公開

Sri Lanka : Addressing Gender Based Violence in an awareness video

スリランカでは5人に2人の女性がジェンダーに基づく暴力（GBV）を受けています。GBVに対応し、防止するため、UNFPAは各国政府や関係者の協力のもと、啓発用のメッセージビデオを作成しました。本動画に参加した在スリランカ日本大使館の水越英明大使は「日本は、スリランカの長年のパートナーとして、女性の平和と安全に関する初の国家行動計画の策定を通じて、GBVシェルターで暮らす女性や子どもを支援し、予防と保護の両方の導入を促してきた」と、日本が担ってきた役割について述べました。



[▶ 動画を見る \(English\)](#)

In Sri Lanka, 2 in 5 women have suffered from some form of Gender Based Violence (GBV). UNFPA, with the support of multiple governments and partners, has released an awareness video to address this alarming matter. Mr. Mizukoshi, Ambassador of Japan to Sri Lanka, participated in the video and touched on Japan's role in supporting the elimination of GBV.

## カンボジア：日本大使館職員、保健システム強化事業を視察

Cambodia : Japanese embassy officials inspect the health system strengthening project

UNFPAカンボジア事務所が、日本政府の支援を受けて実施する保健システム強化プロジェクトは、安全な出産のために必要な医療機材の提供や、助産師を対象とした緊急産科医療に関する研修を行っています。2022年12月12日、在カンボジア日本大使館の藤本昌子 一等書記官と池邑綾乃 二等書記官が、同事業を視察するため、ラタナキリ州を訪問。緊急産科ケアを提供している病院や少数民族を訪ね、医師や助産師が抱える課題や、少数民族の女性たちの生活や結婚、妊娠、出産の現状について話し合いました。



[▶ UNFPAカンボジア事務所 \(English\)](#)

UNFPA Cambodia, with the support of the Japanese government, is carrying out a health system strengthening project which provides medical equipment necessary for safe childbirth and emergency obstetrics. In December 12, Secretary Fujimimoto and Secretary Ikemura of the Embassy of Japan in Cambodia visited Ratanakiri State to inspect this project.

## エチオピア：日本政府、緊急医療支援のため、救急車を提供

Ethiopia : Japan provides ambulances to support emergency obstetric services

エチオピアのアファール州、アムハラ州、ベニシヤングル・グムズ州、ティグライ州では、紛争により医療システムが甚大な影響を受けています。UNFPAエチオピア事務所は、緊急産科医療や新生児ケアなどの強化を目指し、日本政府などの資金援助のもと、2022年12月12日に、4州に計10台の救急車を提供しました。供与式典に出席した在エチオピア日本大使

館の伊藤恭子大使は「新しい救急車の導入が地域の病診連携システムを強化し、助けが必要なすべての女性と少女に手を差し伸べることを心から願う」と述べました。



[▶ 詳しくはこちら \(English\)](#)

On December 12, UNFPA Ethiopia handed over ten ambulances to the conflict-affected regions in Afar, Amhara, Behishangul-Gumuz and Tigray Regions. The ambulances were purchased with the support of several governments including Japan, and will be deployed to strengthen emergency obstetric, new-born care and other critical services at hospitals.

## マダガスカル：日本支援により妊産婦に産科医療を提供

Madagascar : Providing high-quality healthcare for women and girls

干ばつ等による深刻な人道的危機が続くマダガスカル南部のグラン・シュッド。UNFPAマダガスカル事務所は、日本政府の資金援助のもと、妊産婦に妊娠中・出産時・産後ケアを無償提供し、質の高い医療を支えています。予防可能な妊産婦・新生児死亡の削減を目指し、家族計画に関する啓発や衛生・分娩キットの配布も実施。在マダガスカル日本大使館の樋口義広大使はSDGs達成には女性の活躍が不可欠とし、「マダガスカルの女性一人ひとりが身体的、精神的、社会的に自由に選択できる社会の実現」に期待を寄せました。



[▶ 動画を見る \(日本語字幕あり\)](#)

UNFPA Madagascar, with the support of the Japanese government, provides women and girls free high quality sexual and reproductive healthcare in regions where grave humanitarian crises continue. In an official statement, Mr. Yoshihiro, Ambassador of Japan to Madagascar, mentioned the importance of women's empowerment in achieving the SDGs.

## スリランカ：日本による女性と少女への支援事業、完了

Sri Lanka : Project uplifting health of women and girls supported by Japan has been concluded

UNFPAスリランカ事務所が、2019年から日本政府の支援を受けて実施してきたPROMISESプロジェクトが、2022年12月に完了しました。同事業は、脆弱な立場の女性や少女のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスとジェンダーに基づく暴力に関する情報とサービスへのアクセスを改善することを目的としたもの。在スリランカ日本大使館の水越英明大使は、

プロジェクトの成果は「女性と少女の保護と幸福に貢献し続け、平和と安全の持続につながると信じている」と述べました。



▶ [UNFPAスリランカ事務所 \(English\)](#)

UNFPA Sri Lanka's 3 year project "PROMISES", funded by Japan, came to an end in December 2022. The project aimed to improve women and girls' access to information and services on sexual and reproductive health and gender-based violence. Ambassador Mizukoshi expressed Japan's hopes for the project's achievements to contribute to peace and security in Sri Lanka.

---

## UNFPA IN THE NEWS

---

### ラオス：安全な出産を支える助産師を育成 - 朝日新聞

Laos : Training midwives for safe delivery - Asahi Shimbun

若年結婚率が高いラオス。UNFPAラオス事務所は、女性や少女の現状や母子を取り巻く環境や社会を変えようと、助産師育成プロジェクトを実施しています。2022年11月に、メディア向けのツアーがラオスで行われ、参加した朝日新聞の秋山記者の記事が今年1月に掲載されました。UNFPA職員のサリー・サクルクは「望まない妊娠や多産で貧困のサイクルにはまりこんでしまう女性たちも多い」ことを指摘し、「安全なお産や家族計画の指導、実践など、助産師の役割はとて大きい」と語りました。



▶ [記事全文はこちら \(有料\)](#)

Laos is known for its high proportions of child marriage. In response, UNFPA Laos is carrying out a midwife training program in order to change the environment and society surrounding women and girls. Asahi Shimbun reported these efforts and published an article earlier this month, touching on the significant role of midwives in safe childbirth and adequate family planning.

---

### 持続可能な社会へ、女性に意思決定権を - NHK

Eiko Narita, Chief of UNFPA Japan, appears in NHK TV program "Shiten Ronten"

UNFPA駐日事務所長の成田詠子が、2022年12月20日放送のNHK Eテレ「視点・論点」に出演し、人口80億人に達した世界が直面する課題と解決策について語りました。成田は、出

生率に関する問題の核心にあるのは、多くの場合、女性が意思決定できる立場にいないことだと指摘。持続可能な社会に向けて、各国が「第一に、家族計画に関するサービスや情報への普遍的アクセスの保障、第二に男女平等な教育への投資、第三に女性のための正規雇用機会の拡大」に取り組むことが重要であると述べました。



On December 20, an interview with Eiko Narita, Chief of the UNFPA Representation Office in Japan, was broadcasted on a NHK TV program “Shiten Ronten (Perspectives and Issues)”. On the occasion of the world population reaching 8 billion, Narita highlighted the importance of “investing in people” and that humanity itself is the solution to solving global issues.

[▶ 記事全文はこちら](#)

---

## その他のトピックス

Other topics

---

- [人口変動という挑戦 不均衡の解消に国際結束を（朝日新聞 社説）](#)
  - [人口80億の世界 貧困と紛争をなくす努力を（毎日新聞 社説）](#)
  - [世界人口が80億人に（NHK 解説委員室）](#)
  - [世界人口、80億人に 国連推計 鈍る増加率、成長に試練（日経新聞）](#)
  - [世界の人口が80億人に 中国は来年にも人口首位から転落、1位は？（朝日新聞）](#)
  - [人口増の中東に“性と生殖に関する権利”普及を（NHK 国際報道2022）](#)
  - [世界の人口 80億人突破へ インドやアフリカなどで増加が顕著に（NHK 国際）](#)
  - [途上国における開発課題としての高齢化（外務省 ODAメールマガジン）](#)
  - [焦点：アフリカで深刻化する「生理の貧困」、学校諦める生徒も（ロイター）](#)
  - [ウクライナへの寄付先一覧 国連機関やNGOなどの連絡先は？（NHK）](#)
-



[Website](#)

[Twitter](#)

[Instagram](#)

[Facebook](#)

[YouTube](#)

本メールは [tokyo.office@unfpa.or.jp](mailto:tokyo.office@unfpa.or.jp) より [tokyo.office@unfpa.or.jp](mailto:tokyo.office@unfpa.or.jp) 宛に送信しております。  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル7F 国連人口基金駐日事務所

[配信停止](#) | [登録情報更新](#)



TRUSTED EMAIL



TRY US FREE TODAY!